

13 以下の文章のうち誤っているものを選びなさい。(複数可)

- a CT検査やMRI検査で使用する造影剤によりアナフィラキシーショックが起こることがある
- b 造影剤により検査終了数時間以降にも副作用が発生することがある
- c 血管造影検査後にも合併症あるいは副作用が出現することがある
- d 注腸検査(大腸透視検査)では前処置が必要である。
- e 胸部単純X線検査は微量の放射線であるためX線被曝に注意を払う必要はない。

14 内分泌系とその疾患の概念につき誤っているものをひとつ選べ。

- ① ホルモン産生臓器から分泌され、血行性に遠隔臓器に作用する。
- ② 随時1回のホルモン血中濃度測定ですべての疾患が診断可能である。
- ③ ぼけ、倦怠感など非特異的な症状を示す疾患もある。
- ④ ホルモン過剰症とホルモン欠乏症が存在する。
- ⑤ 下垂体は副腎皮質、甲状腺、性腺系の機能を制御している。

15 各種内分泌疾患の記載につき正しいものはどれか?

- (1) 下垂体機能低下症の診断には下垂体ホルモン分泌刺激試験が重要である。
 - (2) プロラクチン(PRL)産生腫瘍では低血糖、低血圧が主症状である。
 - (3) 先端巨大症はACTHの過剰による副腎皮質機能亢進による。
 - (4) バセドウ病(甲状腺機能亢進症)では徐脈、皮膚乾燥が認められる。
 - (5) Cushing症候群は下垂体腺腫が原因のことがある。
- a (1)、(2) b (1)、(5) c (2)、(3) d (3)、(4)
e (4)、(5)

次頁あり